

地域の皆様の声を受け、 一つずつカタチに

河川 管理

県では、河川管理の一環として河川敷などの除草を行っています。例年、除草されている箇所が実施されておらず、地域の方よりお困りの声をいただきました。現状を共有し、担当課に対応いただきました。尚、除草は、イノシシなどの出没防止にもつながります。

青葉区下愛子峯岸前付近



除草作業



交通 安全

消えかかっていた
横断歩道の改善

青葉区落合4丁目付近(陸前落合駅北口付近)



交通安全の推進に取り組む地域団体の方から、消えかかっている横断歩道があることで指摘いただきました。歩行者が利用しにくいほか、運転手の方々が気づきにくく危険であり、県警へ共有し対応いただきました。



宮城県の数字

宮城県の人口減少の推計です。
少子化対策、人口流出対策、
交流人口拡大策が重要です。

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」
※ご参考:現在の青葉区が約30万人、若林区が約14万人(宮城県「住民基本台帳人口及び世帯数(月報)令和6年12月末現在」)

通学路の危険箇所への対応

地域の方々より、一部のドライバーなどの交通マナーが守られておらず、通学路で危険な状況になっている場所があるとの声が寄せられました。実態調査、関係各所への共有を行い、改善に向けて対応を行っています。



10年後

約14万人
減

20年後

約31万人
減

第2回

結婚支援・出産支援

少子化対策の一環として行っています。具体的には、男女の出会い支援、不妊症の検査費用や治療費の支援などがあります。

身近な県政って
どんなことを
しているの？

結婚支援

結婚を希望する独身男女の出会いの支援として「みやマリ!」を運営しています。
●条件に合う相手の検索
●相性の良い方をAIにより紹介

登録時に100問程度の
価値観についての
質問にご回答

実績 (開所から2025年
4月30日までの累計)

登録者の総数
3,790人

お見合い
7962組
※のべ15924人

プレ交際
3423組
※のべ6846人

真剣交際
328組
※のべ656人

成婚
202組404人
AIによる紹介 73組
自身による検索129組

登録料・更新料 30歳以上 11,000円 / 30歳未満 5,500円 ※2年間有効

出産 支援

- 不妊検査費の助成 最大3万円
 - 不妊治療費の助成 1回あたり最大5万円
- ※初回の治療開始日の妻の年齢: 40歳未満→1子ごと6回まで
40歳以上43歳未満→1子ごと3回まで



申請窓口は仙台市

宮城県 議会活動報告

〔編集〕宮城県議会議員(青葉区) 〔発行日〕2025年6月14日 〔発行〕自由民主党・県民会議



ご意見・ご質問や
本紙『議会活動報告』のご感想を
お待ちしております。

Mail ▶ info@michi-sato.com

さとう みちあき
佐藤 道昭 (政党: 無所属)
環境福祉委員会/県民所得向上対策調査特別委員会

事務所

〒981-0943 仙台市青葉区国見1-1-12 1階
TEL.022-341-4203 FAX.022-341-4258



【プロフィール】

- 1982年6月7日、青葉区堤町生まれ、仙台育ち、青葉区下愛子在住
- 家族 妻、長男(広瀬中2年)、次男(広瀬小5年)、三男(5歳)
 - 経歴 南中山小、南中山中(野球部)、仙台二高(ハンドボール部)、宮城教育大学(みちのくYOSAKOIまつり実行委員会)、参議院議員 桜井 充秘書、2023年10月宮城県議会議員初当選
 - 資格 政策担当秘書、小・中学校(社会)教諭免許状
 - 活動 広瀬小学校PTA 会長、下町町内会 広報、仙台市子ども会連合会 常任理事、仙台青葉倫理法人会 副会長
 - 趣味 ランニング・スキー・スノーボード



みやぎこども幸福計画が 策定されました！



基本理念

誰もが安心してこどもを生み育て、すべてのこどもが生まれ育った環境に左右されず、愛情に包まれ、夢と希望を持って、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で成長できる社会づくりを目指す。

推進する施策と内容

※施策内容を抜粋して掲載しています。

令和7年度事業一覧▶



多様な遊びや体験、
活躍できる
機会づくり



こどもや若者への
切れ目のない
保健・医療の提供



こどもの
貧困対策

障害児支援・
医療的ケア児等
への支援



こども・若者の
自死対策、犯罪などから
こども・若者を
守る取組

子育てや
教育に関する
経済的負担の軽減

共働き・
共育での推進、
男性の家事・子育てへの
主体的な参画
促進・拡大



ひとり親家庭
家庭への
支援



子どもたちに体験活動を提供している団体に子ども会や子ども食堂、ボーイスカウトなどがあります。例えば、子ども会は近所の異年齢集団であり、活動が充実することは有意義であると考えます。また、子ども食堂では貧困家庭のお子さんたちの支援とともに、食事作りや外出のイベントを企画されるなど体験活動を提供されておられます。ボーイスカウトでは自然の中での活動も提供されておられます。多様な民間団体との連携を計画の中にも盛り込んでいくべきと考えます。

計画への反映状況

■ 遊びや体験活動の推進(「みやぎこども幸福計画」p.11)

□現状と課題

「◆現代のこども・若者は、核家族化や少子化の進展に伴い、異年齢の中にいる機会が少ない中で育ってきており、**地域や異年齢集団の中で互いに影響しあって活動する機会や、乳幼児と触れ合う機会が乏しい**状況にあります。」と表現を修正。

□基本的方向性

「◆市町村教育委員会、県民、事業者、地域活動団体、NPO等の多様な団体との連携のもと、地域における青少年ボランティアであるジュニア・リーダーの育成をはじめ、こどもの学習・体験活動や地域活動の活性化を図り、社会貢献活動に対する意欲を高めます。」と表現を追加。

※黒字が中間案、赤字が追加された部分

みやぎこども幸福計画
(令和7年度～令和11年度)
反映されました



防犯

(令和6年度11月定例会)



問

地域団体が防犯カメラを設置する場合の補助を市町村振興総合補助金としてではなく、十分な予算を確保した上で、県の単独事業にて実施することは防犯カメラの普及拡大に寄与し、防犯体制の強化につながると考えますが、見解を伺います。



回答

環境生活部長

引き続き市町村振興総合補助金により支援するとともに、県民の気運醸成や、多様な主体との連携強化などの施策についても総合的に取り組むことにより、防犯体制の強化に努めてまいります。

観光

(令和6年度11月定例会)



問

交流人口拡大に向けて取り組んでいる地域の団体では、活用したい資源や誘客のための企画はあるが予算も人材も不足しているため、具現化できていないとの悩みを抱えておられます。地域の魅力を取りこぼすことなく磨き上げるためにも、様々なニーズに早期に応えられるコンテンツの造成を行うため、支援対象を市町村やDMO(観光地域づくり法人)*に限らずに、地域団体や民間事業者も加えるべきと考えるが見解を伺います。



回答

村井嘉浩知事

市町村やDMO*のほか、地域で精力的に活動するまちづくり団体や民間事業者への支援についても検討を行い、魅力ある観光資源の創出に向けて、地域一体となった取り組みを支援してまいりたいと考えております。

※DMO(観光地域づくり法人)

官民が協力して設立する観光地域づくりの司令塔。観光データの収集・分析、観光地域づくりの戦略の立案、関係者との合意形成、PDCAサイクルの実施等を実施。



宮城県議会
インターネット中継

録画
映像

令和6年9月定例会 10月4日 予算特別委員会

- 1.税務総合管理システム改修費について(宿泊税)
- 2.子ども食堂運営支援費について
- 3.自然災害避難支援アプリ導入費について
- 4.地域ポイント等導入支援費について



令和6年11月定例会 11月29日 本会議 一般質問

- 1.病院再編・医療提供体制の諸課題について
- 2.防犯体制の強化について
- 3.観光振興策の充実について
- 4.鳥獣被害対策の推進について

